

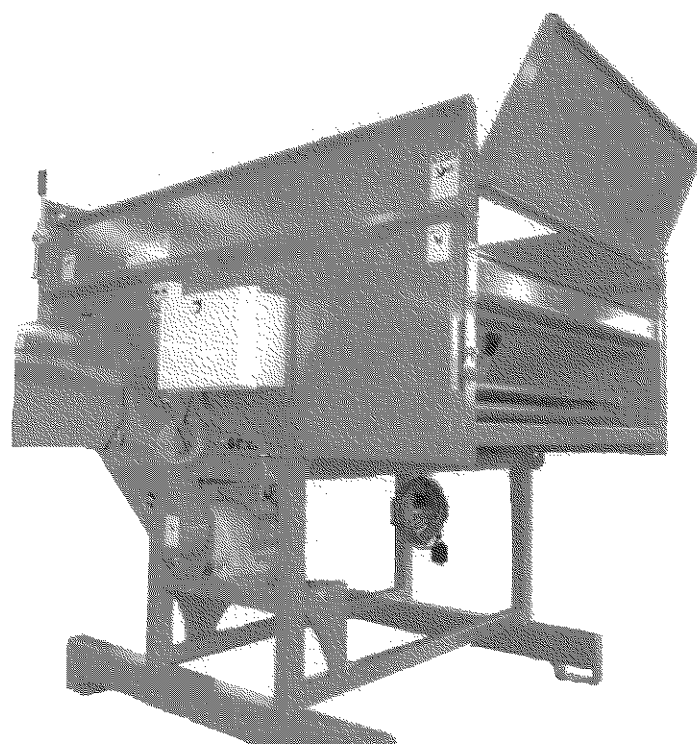
取扱説明書及び部品表

 **Takakita**

ベールフィード

(モータ仕様)

BF1600M



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、ペールウィグ（モータ仕様）の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いています。
- なお、本製品については不断の研究成果を新しい技術として直ちに製品に取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

警 告 サ イ ン

 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

 **危険** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意** その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

 安全に作業するために	1
--	---

本製品の使用目的とサービスについて	9
-----------------------------	---

各部の名称とはたらき	10
----------------------	----

設置のしかた	11
------------------	----

1. 設置のしかた	11, 12
---------------------	--------

運転に必要な装置の取扱い	13
------------------------	----

1. フローコンベア, アジテータ, 巻取り装置	13
------------------------------------	----

作 業 方 法	13
-------------------	----

1. 作業手順と要点	14
----------------------	----

2. 作業方法	15 16
-------------------	-------

簡単な手入れと処置	17
---------------------	----

1. フローコンベアの調整	17
-------------------------	----

2. ローラチェンの張り調整	17
--------------------------	----

3. V ベルトの張り調整	19
-------------------------	----

4. 日常の管理について	19
------------------------	----

5. 長期格納時の手入れ	19
------------------------	----

6. 各部の給油	20
--------------------	----

作業前の点検について	21
----------------------	----

点検一覧表	21
-----------------	----

不 調 診 断	22
-------------------	----

付 表	23
---------------	----

1. 主要諸元	23
-------------------	----



安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解した上で使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。

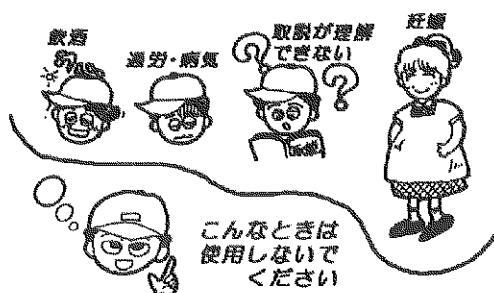
機械を他人に貸すとき、または他人に運転をさせるときは、運転の仕方を教え、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

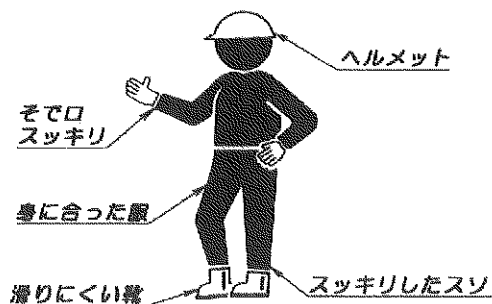
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。



(2) 使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



(3) 適応以外への装着厳禁

下記の装着条件に合致する電圧以外は使用しないでください。

型 式	適応電源	装 着 方 法
BF1600M	200V 3 相	定置固定

(4) 積載物の厳守

本機は、積載量を限定しています。表示以上の積み過ぎは危険です。

型 式	最大積載量	
	平 地	傾斜地 (不可)
BF1600M	1000kg	

(5) 設置

傾斜の無い所に設置して下さい。
軟弱地では設置しないで下さい。

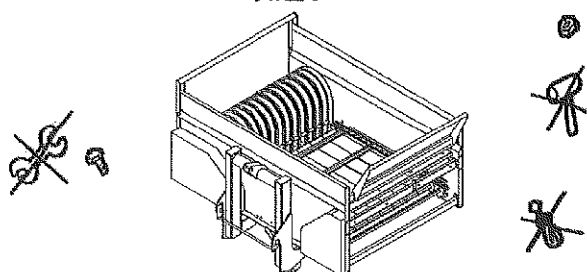
⚠ 安全に作業するために

(6) 機械の改造厳禁

純正部品や指定以外の部品を取付けないでください。

また、改造しないでください。

改造ダメ！



(7) 使用目的以外への使用禁止

カッティングされたロールベールを解体することを目的として作られた機械です。

他の目的には使用しないでください。

(8) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



2. 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。

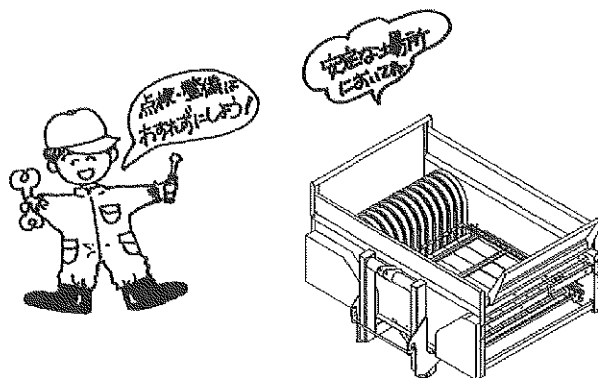


(2) 作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

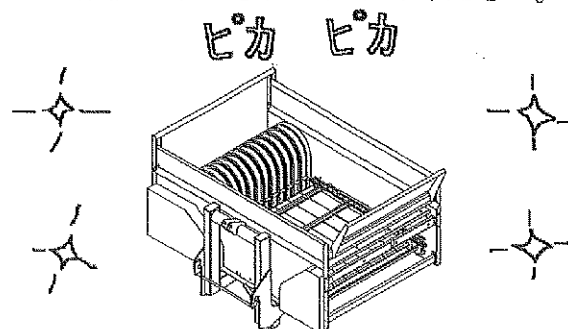
(3) 点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除するときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所で、トラクタのエンジンを停止させ、駐車ブレーキまたは車止めをしてから行ってください。



(4) 機械を常にきれいに

火災予防と性能維持のため、回転部への草などの巻付きやたまりを取り除き、機械を常にきれいにしてください。

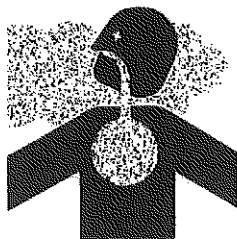


⚠ 安全に作業するために

(5) 排気ガスには十分注意

屋内などでエンジンを始動するときはエンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります。

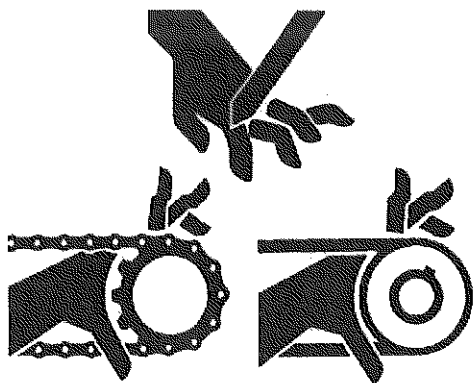
エンジンの始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、十分換気を行ってください。



(6) カバー類を必ず取付ける

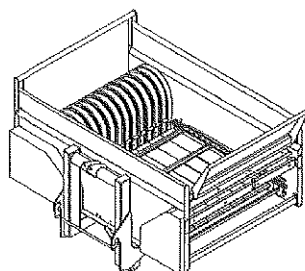
カバー類などの防護装置を取外すときは、必ずエンジンを止めてから行ってください。

また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



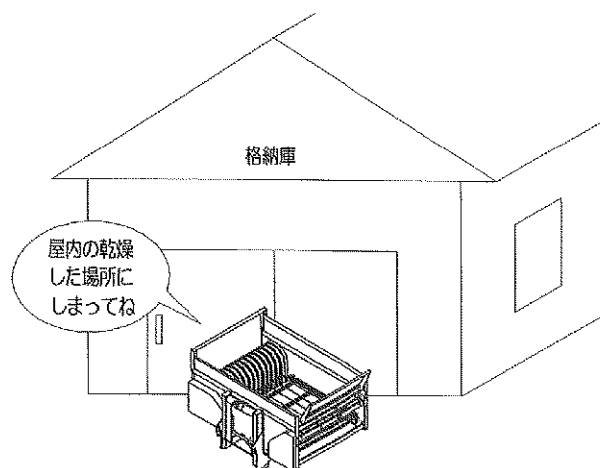
(7) 注油・給油をするときは

エンジンを止め、回転部分が完全に停止してから行ってください。



(8) 長期格納するときは

機械を清掃し、回転部及びチェーンには十分注油して、屋内の平坦な場所に保管してください。



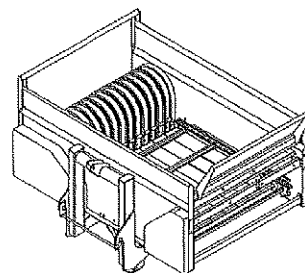
3. 作業・移動をするときは

(1) 人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

また、トラクタの油圧の昇降は付近に人や器物がないことを確認してから行ってください。

近づくとあぶないよ！

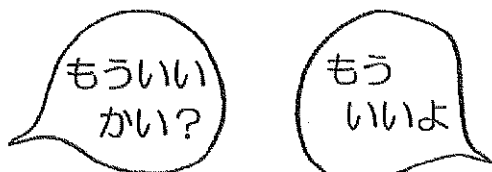


(2) 回転中は危険です

回転部には近寄らない、触らないを守ってください。

⚠ 安全に作業するために

- (3) 二人以上で作業するときは
二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。



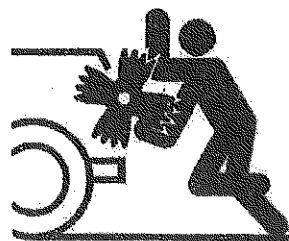
- (4) 草の巻き付きを取り除くときは
エンジンを必ず止め、回転部が完全に停止してから行ってください。

- (5) エンジンを始動するときには
変速レバーを中立にし、周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。
守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



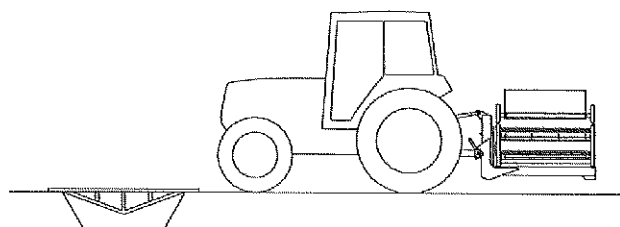
- (6) 急な発進・停止・旋回・スピードの出しすぎ禁止
スピードの出しすぎ、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますので行わないでください。
また、起伏の多いほ場や傾斜地は危険です。作業スピードは極力落として作業を行ってください。

- (7) 回転中のアジテータやコンベアバー・コンベアチェンには触れない
回転しているアジテータやコンベアバー・コンベアチェンに、手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれ重傷を負うことがあります。



- (8) 溝や段差を横断したり軟弱な所を通るときは
スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。

ゆっくりと



- (9) 作業途中で運転席より離れるときは
平坦な場所に降ろし、エンジンを止め、駐車ブレーキを掛けてください。



⚠ 安全に作業するために

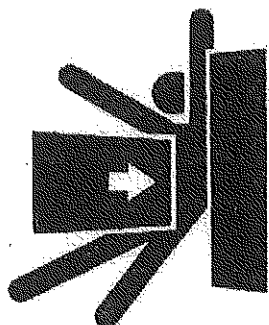
(10) 傾斜地作業は禁止

傾斜地での作業は、危険ですので絶対に行わないでください。必ず平坦地で作業してください。

**傾斜地では
作業しない**

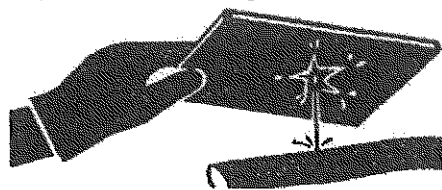
(11) 後進して作業するときは

後方に障害物のないことを十分確認し、本機と障害物の間に人や動物を挟まないようにしてください。

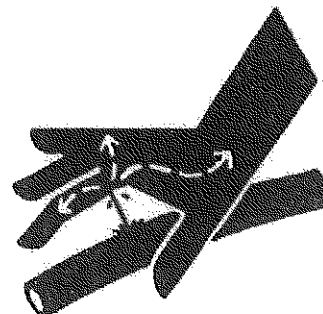


(12) 高圧油に注意してください

- ①圧力がかかり噴出した油は、皮膚に浸透する程の力があり、傷害の原因になります。
- ②高圧油による傷害を防止するために配管・ホースなどの取り外し前には必ず残圧を抜いてください。
- ③圧力をかける前に配管・ホースなどは正しく確実に締め付けてください。
- ④非常に小さな穴からの油漏れは、ほとんど目に見えないことがあります。手で油漏れを探すことは止めてください。必ず、保護メガネをかけ、紙などを使用して調べてください。



- ⑤万一、油が皮膚に浸透したときは、強度のアレルギーを起こす恐れがあるので、すぐ医師の診療を受けてください。



安全に作業するために

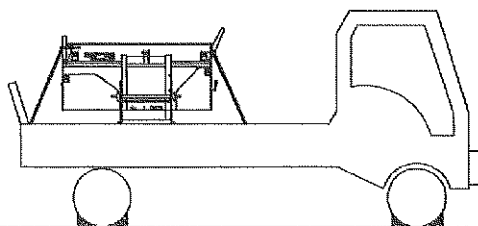
4. 道路走行・輸送するときは

(1) トラクタに装着しての公道走行禁止

トラクタに本機を装着して公道を走行すると道路運送車両法に違反します。
トラクタに装着しての走行はしないでください。

(2) トラックなどへ積み込み・積降ろしは

平坦な場所でトラックが移動しないようエンジンを止め、サイドブレーキをかけ、車止めをしてください。
積込んだ機械は車止めをし、強度が十分にあるロープで確実に固定してください。

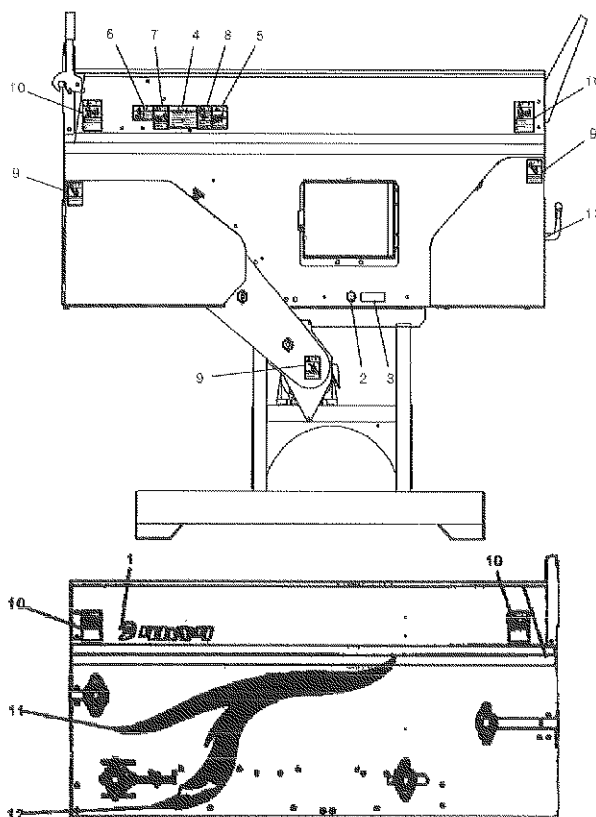
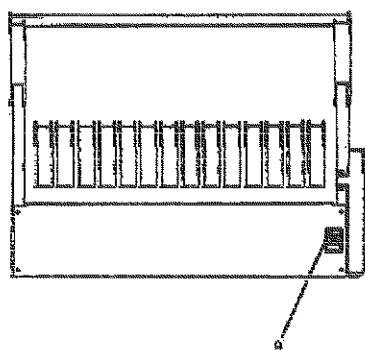


以上、機械の取扱いで注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも本文の中で  印を付けて安全上の注意事項を表記しております。



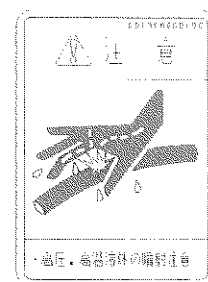
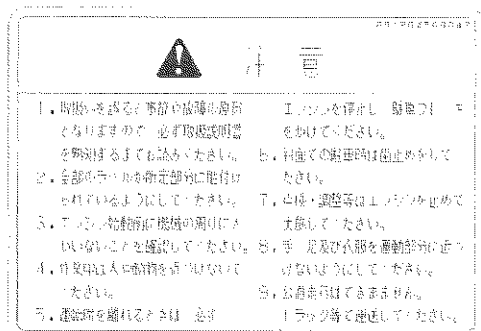
安全に作業するために

5. 警告ラベルの貼付け位置



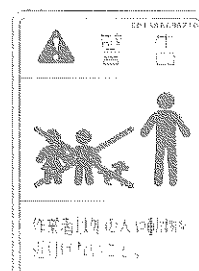
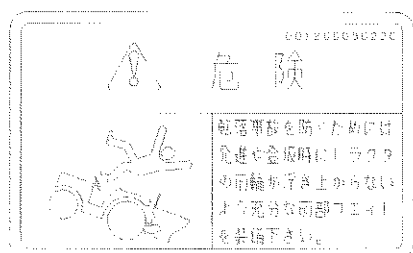
①部品コード 001204500042

②部品コード 001306000190



③部品コード 001206000230

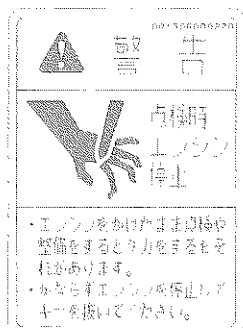
④部品コード 001306000210



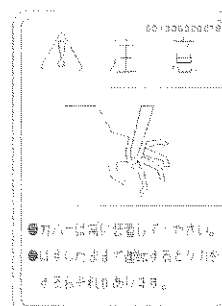


安全に作業するために

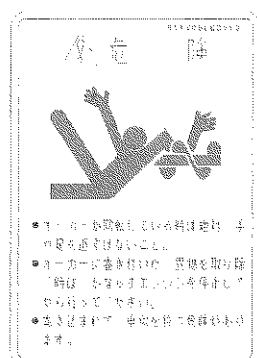
⑤部品コード 001306000220



⑥部品コード 001306000070



⑦部品コード 001306000510



警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店又は当社に注文し新しいラベルを元の位置に貼ってください。(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

本製品の使用目的について

本製品は、ロールベールの解体作業にご使用ください。

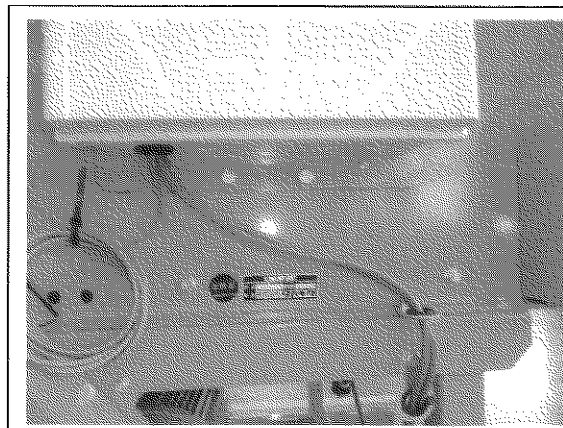
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

(機体銘板貼付け位置図)

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。



【連絡していただきたい内容】

- 品名と型式
- 機体No. (SER-No.)
- ご使用状況は？
(どんな条件でどんな作業をしていたときに)
- どれくらい使用されましたか？
(約〇〇アール、または約〇〇時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

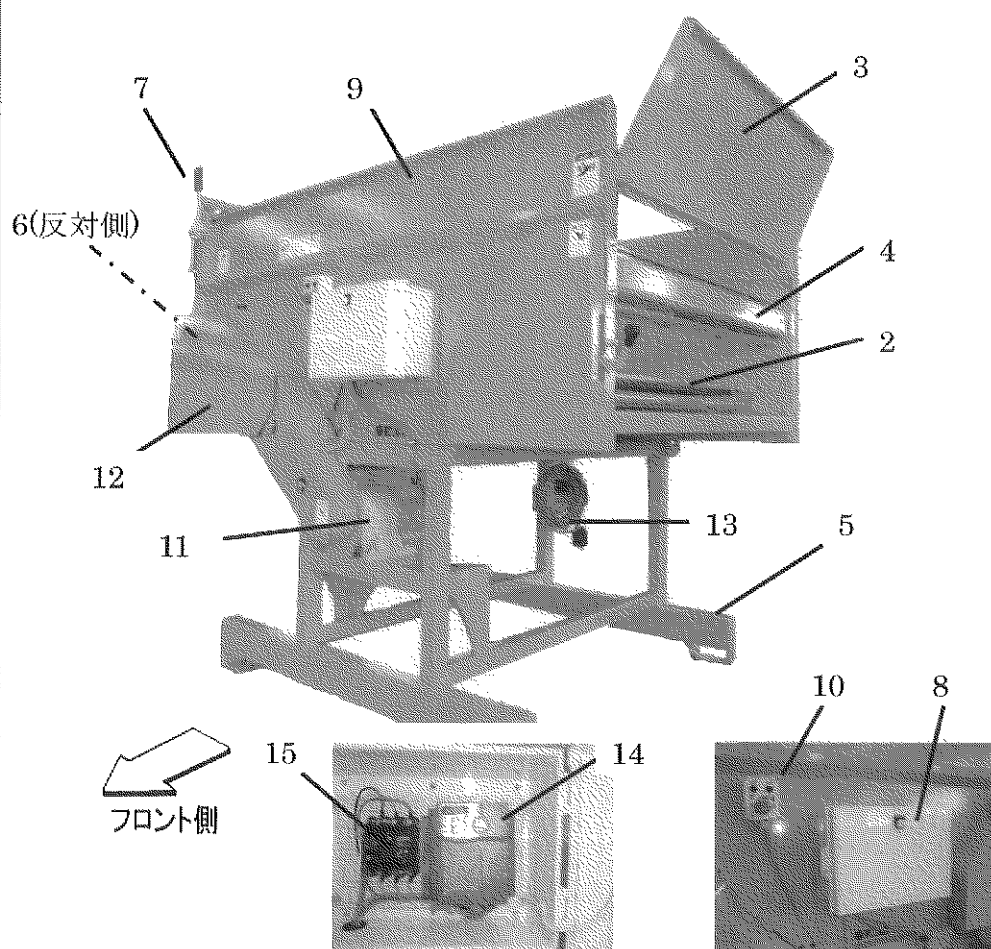
※機体No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体No.などを記入しておいてください。】

品名	ベールフィーダ(モータ仕様)
型式	BF1600M
機体No. (SER-No.)	
購入年月日	年 月 日
販売店名	TEL : ()

各部の名称とはたらき

BF1600M



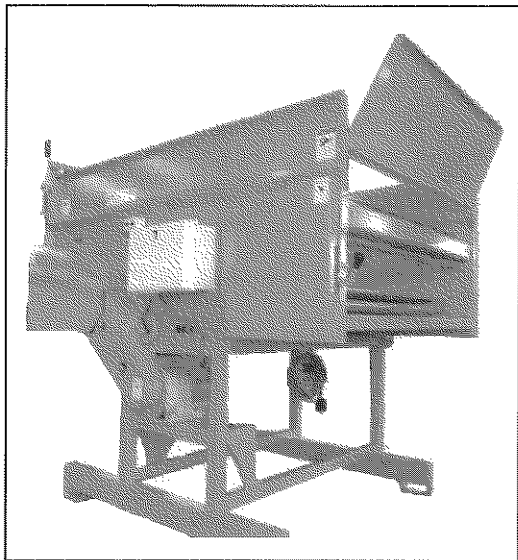
番号	名 称	は た ら き
1	アジテータ	ロールベールを崩す回転ツメ。
2	フローコンベア	ロールをアジテータに送るコンベア。
3	アオリ	牧草のこぼれ防止板。
4	巻取り装置	梱包材料を巻取りする装置。
5	フレーム	全体の荷重を支える部分。
6	クラッチレバー	巻取り装置の回転を入切りするレバー。
7	前後ステー	アジテータ上で詰まった牧草を取り易く開放する部分。
8	電源ボックス	電源とインバータ及びブレーカのボックス。
9	ホッパ	ロールベールを入れる部分
10	リモコン	正転、逆転、非常停止のリモコン
11	減速機付きモータ	本機の駆動と回転の減速を行なう部分。
12	チェンカバー	アジテータとコンベアの駆動チェンカバー。
13	電源コード	200V の電源コード
14	インバータ	各種制御回路のコントロール部分
15	ブレーカ	電源遮断機

設置のしかた

1. 設置のしかた

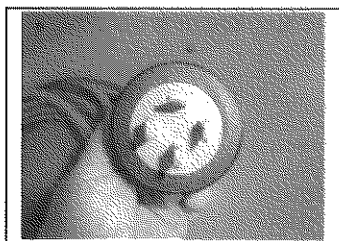
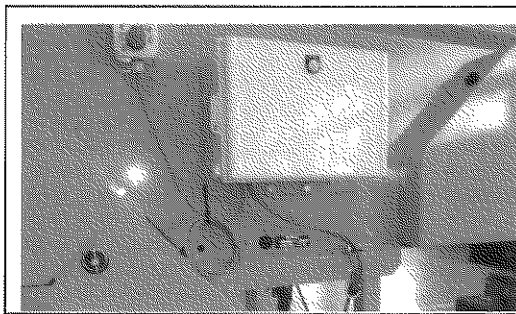
- ◆ 本機は、乾燥した平坦な地面に設置してください。

機体には、約 800Kg から 1000Kg のローラーがのる事があります。転倒の危険性が無い場所へ設置して下さい。



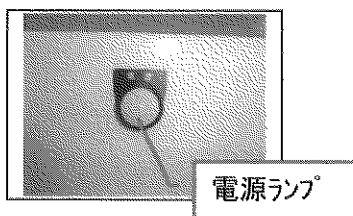
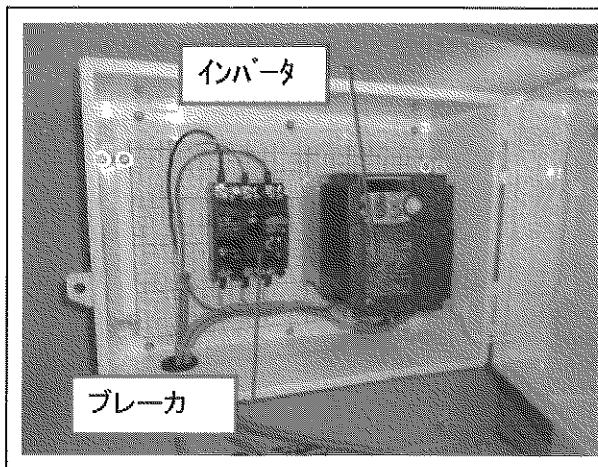
2. 電源の接続のしかた

- ◆ 電源は、200V の 3 相電源を使用してください。相手の電源は、専門業者へ依頼して配線して下さい。
- ◆ 本機は、2.2KW (3PS) のモータを使用しています。配線の長さとおペアについては、専門業者へ相談して下さい。



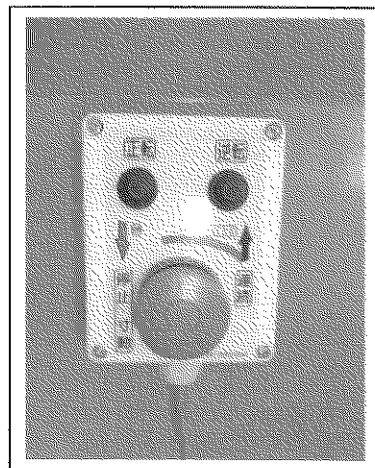
3. 電源と確認

- ◆ 200V の電源に接続後、電源ボックスの左のブレーカのスイッチをONにして電源ランプが点灯する事を確認して下さい。



- ◆ 電源ランプが点灯したら実際に本機を回転し試運転を行ないます。リモコンの赤いスイッチ部を右に回転して押します。

次に正転スイッチを押して連続回転させます。



- ◆ 中央の赤いスイッチを押さずに正転もしくは、逆転スイッチを押すと、スイッチを押している時間だけ回転する事が、出来ます。

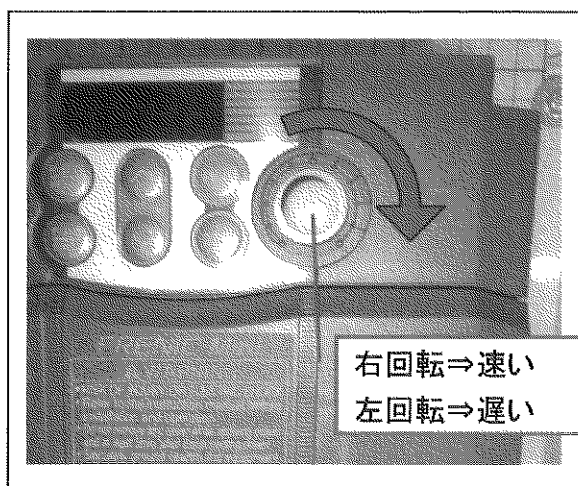
設置のしかた

4. インバータの操作方法

- ◆ 本機は、インバータの設定は納入時に完了しており、設定の必要はありません。(設定を変更する場合はインバータの取扱説明書を良く読んで変更を行なって下さい。)



- ◆ インバータの速度調整ノブを回すとモータの回転を変える事が出来ます。速度調整ノブを左右に回転し、速度を変えて下さい。



運転に必要な装置の取扱い

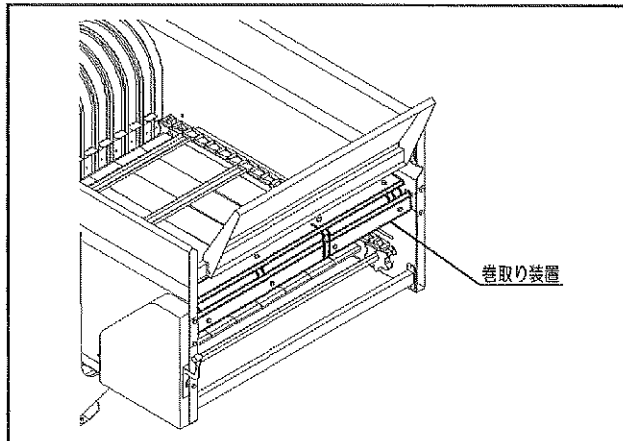
1. フロウコンベア・アジテータ・巻取り装置

フローコンベア、アジテータ、巻取り装置は油圧により同期しています。

よって複動油圧レバー1本で正逆回転を切り替えることができます。

2. 巻取り装置

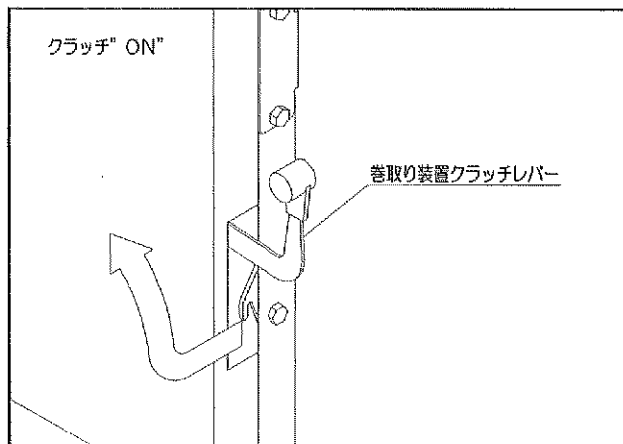
梱包材料をクリップまたはゴムバンドにはさみ、排出作業をしながら巻き取っていく装置です。



3. 巻取り装置クラッチレバー

巻取り装置のクラッチを“ON” “OFF”するレバーです。

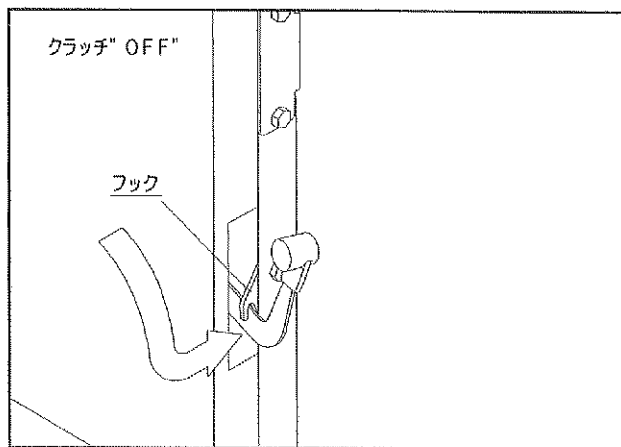
クラッチ “ON”



通常作業状態です。フローコンベア、アジテータと同期して回転します。

クラッチ “OFF”

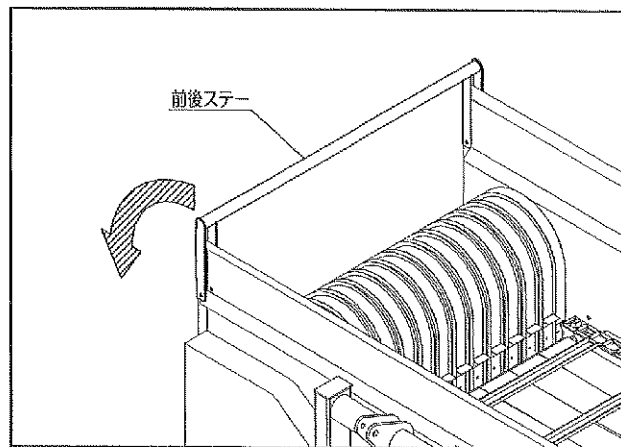
レバーを下側に倒し、フックに引掛けてください。



巻取り装置が自由に回転します。排出作業終了後、梱包材料を取り除くときに使用します。

4. 前後ステアー

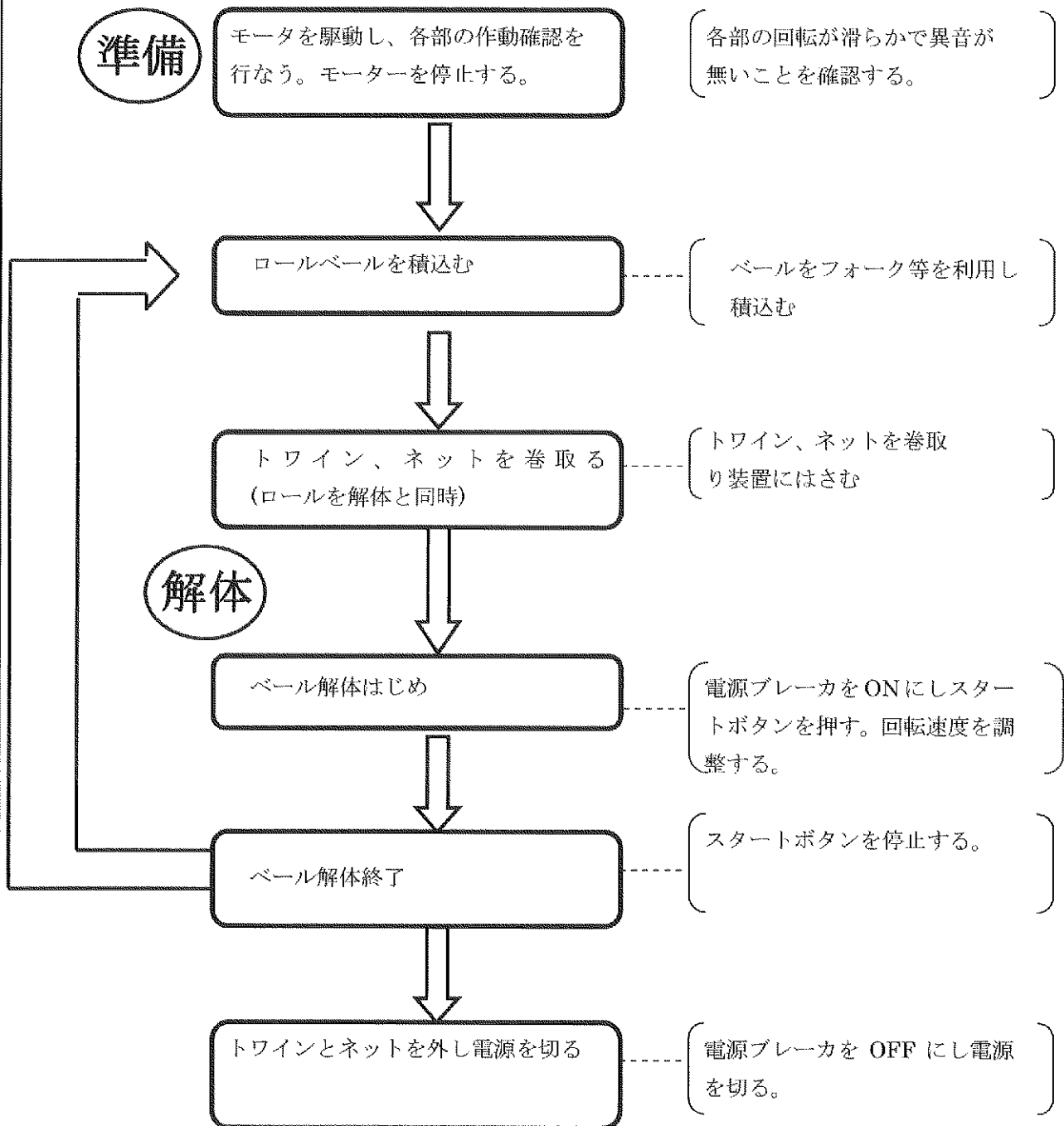
アジテータ部で飼料がつまったときにフックをはずし、つまりを取り除く装置です。



警告

つまりを取り除くときは必ず モーターを止め、回転部が完全に停止してから行ってください。

1. 作業手順と要点



作業方法

1 移動するとき

移動するとき、必ず本機を十分な高さまで上げてから走行してください。



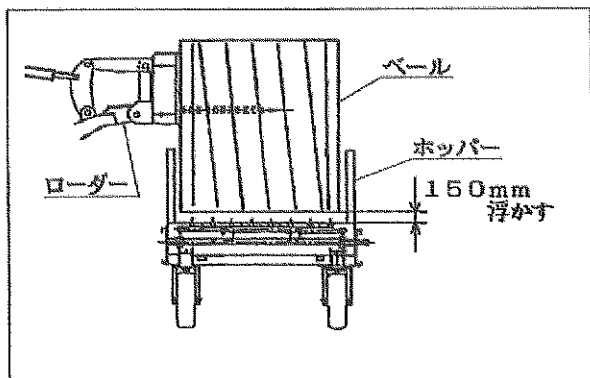
警告

- ① 本機を装着しての運転は、道路およびまわりの条件に適した速度で行ってください。
- ② カーブを曲がる時は、重心の変化や機械の幅に十分注意してください。

2 ベールの積み込み方法

◆ホッパーに積み込むときは

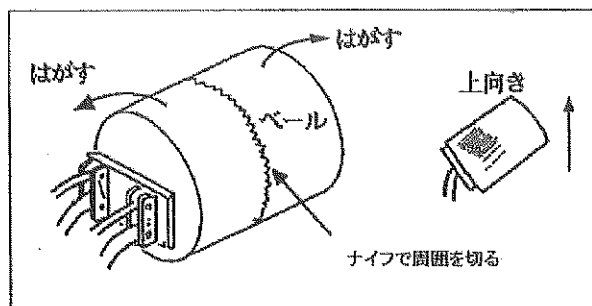
- ① フロントローダーのホークなどを利用してホッパーに積み込みます。
- ② ベールをホッパーの床より少し浮かせた状態 (150mm) でトワイン、ネットなどを取り除きます。
- ③ ベールを完全にホッパー内の床に降ろしてからホークを抜いてください。



◆ラップフィルムのはがし方

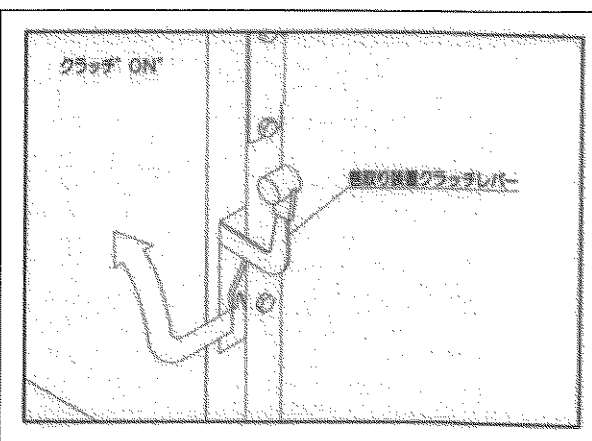
ラップベールのフィルムを取り除くときは下図を参考にとワインを切ることなく、フィルムを取り除くことができます。

- ラップベールをホークで突き刺して、作業しやすい位置まで持ち上げる。
- ホークは上向きにする。

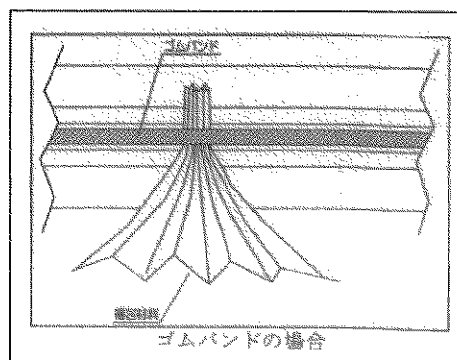
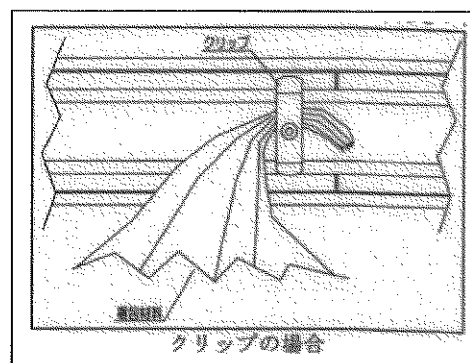


3 梱包材料の剥し方

- ① 巻取り装置のクラッチレバーを ON の位置にしてください。



- ② 積載したロールベールの下側で梱包材料を切断して下さい。
- ③ 切断した上側の端を巻付け装置のクリップ又は、ゴムバンドにはさんで下さい。



作業方法

注意

ラップフィルムを取り除く作業は、ベールをホッパーに積込む前に行ってください。

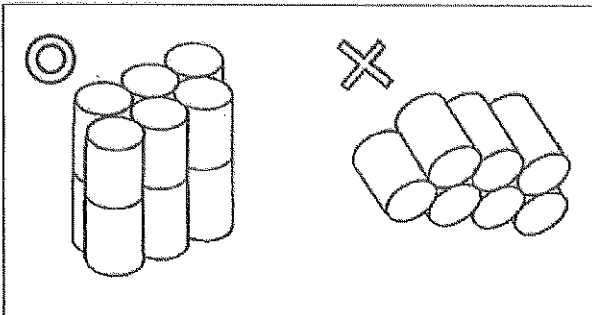


4. ベールの保管方法

- ベールを積み上げて保管する場合、縦積みになると、ベールの変形量が小さく、切断しやすい状態で保管できます。
- 横積みになると、下のベールが大きく変形し、**危険** ます。



危険



5. 傾斜地での作業

注意

傾斜地では作業しないでください。
また横転の危険がありますので、決して行わないでください。

注意

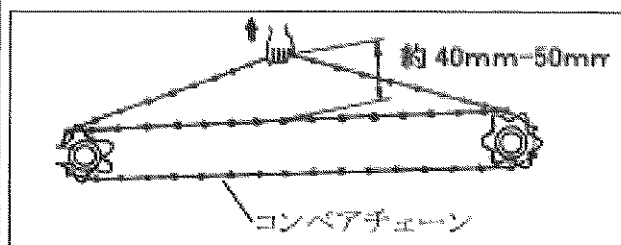
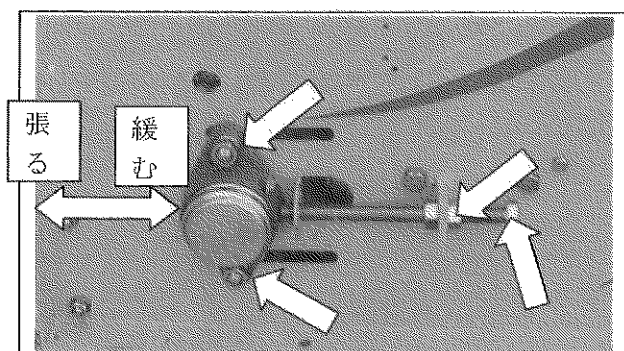
本機は、200V の仕様です。
雨天時は、感電の危険性があります。
特に注意して下さい。

簡単な手入れと措置

1. フロアーコンベアの張り調整

◆チェーンテンションは本機の後方
2ヵ所に装備しております。

- ① ダブルナットの片方を緩め、ベアリングの上下固定ボルトを緩め、テンションボルトを締めて張り量を調整してください。
- ② 調整した後は緩めたナットを確実に締め付けて、緩み止めをしてください。



- コンベアチェーンの調整後は、必ず試運を行いチェーンの張りに片寄りがないか確認してください。
- コンベア内部の草詰まりは、チェーンの耐久性にも悪影響しますので、定期的に草を取り除いてください。

2. ローラチェーンの張り調整

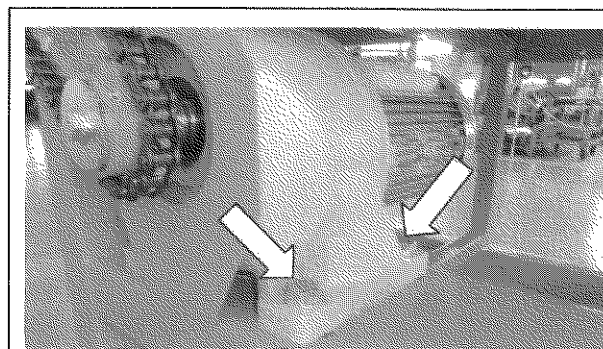
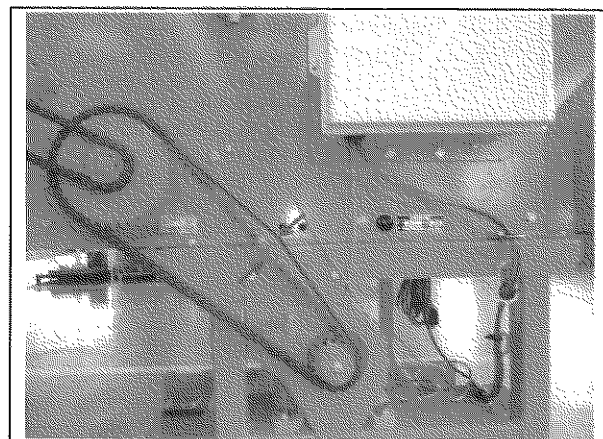
◆ローラチェーンは、初期伸びが多い為初めて使用してから10時間程度は、下記に従って、張り量調整を行なって下さい。

◆ フロアーコンベア駆動チェーン

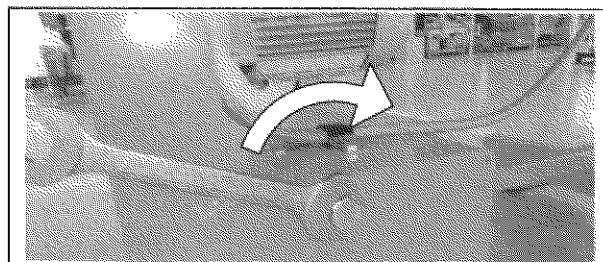
たわみ量が、約 20mmになる様、調整して下さい。

●調整のしかた

- ① モータベースの取付ボルトを 4 本緩める。



- ② 調整ボルトで調整する。

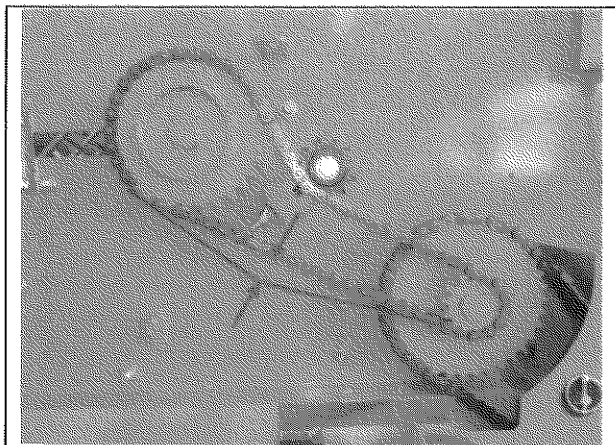


- ③ モータベースの取付ボルトを 4 本を締める。

簡単な手入れと措置

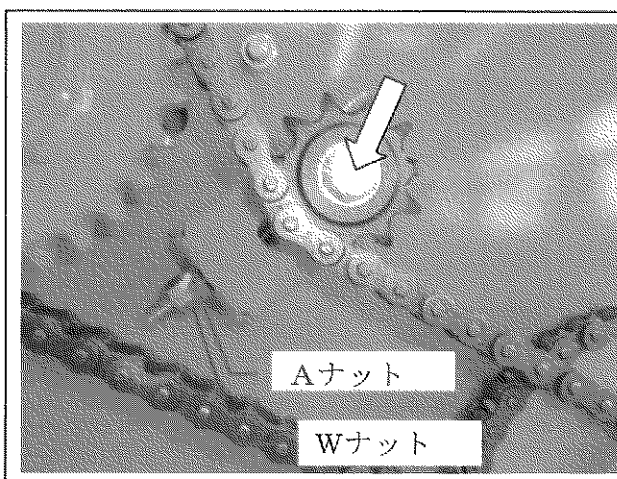
◆ アジテータ駆動チェーン

たわみ量が、約 15mm になる様、調整して下さい。



●調整のしかた

- ① テンションプロケットの取付ボルトを1本緩める。
- ② ダブルナットを緩めてAナットを締めテンションを張る。



- ③ Wナットをロックし取付ボルトを締め付ける。

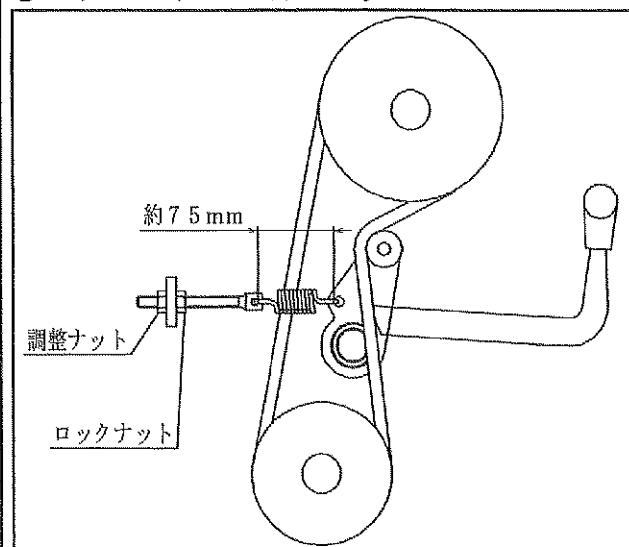
簡単な手入れと処置

3. Vベルトの張り調整

バネ寸法が約75mmになるよう調整してください。

●調整のしかた

- ①ロックナットを緩める。
- ②調整ナットで張りを調整する。
- ③ロックナットを締める。



4. 日常の管理について

- 回転部に巻き付いた草や梱包材料は、その都度取り除いてください。故障の原因となります。
- 作業終了後は、常に掃除をするように心掛けてください。



警告

巻き付いた草や梱包材料を取り除くときや掃除をするときは、エンジンを完全に停止させてから行ってください。

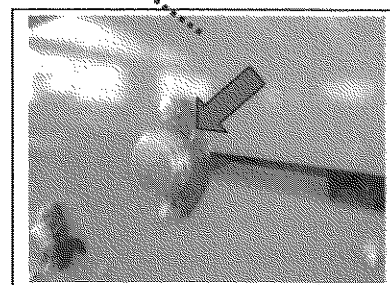
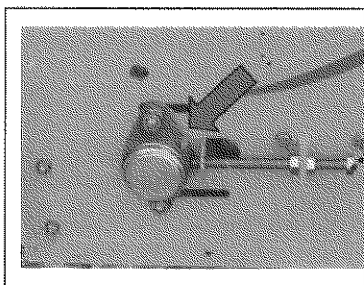
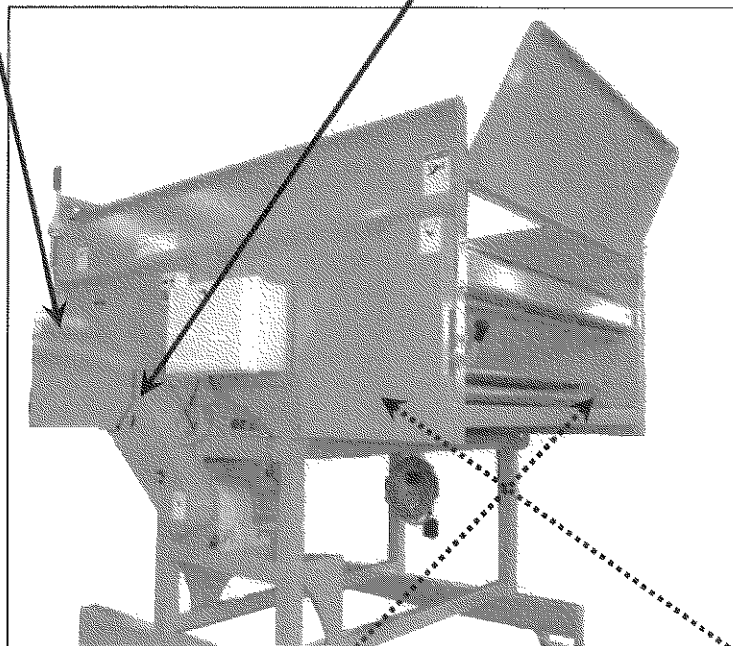
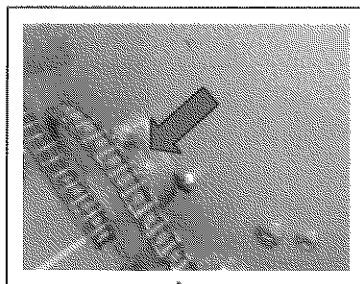
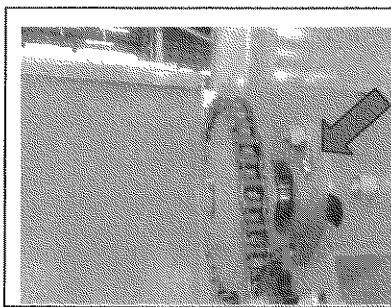
5. 長期格納時の手入れ

作業が終了したら、次期の使用時に備え、末長くご利用いただくためにも、十分な手入れを行ってください。

- 水洗いをして付着した飼料、泥やほこりなどを念入りに取り除いてください。
- 乾燥後は各回転部、チェン、スプロケットに十分注油またはグリス塗布をし、錆びないようにしてください。
- 塗装のはがれた部分には、補修塗料を塗り錆びが出ないようにしてください。
- 各部のボルト、ナットがゆるんでいないかを確認し、ゆるんでいる所は締めてください。
- 各部の点検を行い、不調部は部品交換や修理を済ませておいてください。
- 格納する場所は、雨やほこりのかからない屋内に保管してください。
- 格納は平坦な場所で保管してください。

簡単な手入れと措置

6. 各部の給油



作業前の点検について

作業の安全確保と、故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。
作業前の点検は、欠かさず行ってください。



警告

- 取外したカバー類は必ず取付けてください。衣服が巻き込まれたりして危険です。
- 点検・整備をするときは、必ず電源を切り回転部が止まってから行ってください。

点検一覧表

No.	項 目	内 容	参照ページ	チェック
1	前回使用の異常箇所	修理、補修が完全に行なわれているか。	—	
2	損傷、汚れ、ボルトの緩み	機体の損傷、緩み、ガタ付きが無い か。	—	
3	フローコンベアチェンの張り	適正な張力となっているか。	—	
4	ローチェンの張り	適正な張力となっているか。	—	
5	Vベルトの張り	適正な張力となっているか。	—	
6	回転部の草の巻付き	巻付いた草を除去する。	—	
7	各部の回転	正常に回転しているか、異音は無い か。	—	
8	各部への注油とグリスアップ	各部へのグリスアップと給油は正常か。	—	
9	電源コードの損傷	電源コードは、ヒビ割れと折損、剥離 はないか。	—	

メモ

--

不 調 診 断

不 調 内 容	診 断	処 置	参 照 ペ ージ
● フォアコンベア、アジテータが 回転しない。	● 床送りが動かない ・ 草が詰まっている。 ・ 変形ロールで回転しない。	● 一度逆転して草詰まりを取 除く。 ● インバータの設定を変えてトルクアップ する。(回転数ダウン)	11
	・ コンベアチェーン・コン ベアバーが変形・破損し ている	● 新しい部品と交換する	
● 巻取り装置が回転し ない。	● 巻取り装置のクラッチバーが OFFになっている。 ● Vベルトが滑っている。	● クラッチバーをONにする。 ● ベルトテンションを張るもしくは、ベ ルトを交換する。	14
● 排出量が多い。	● モータの回転数が速い。	● インバータの回転数を落とす。	12
● 排出量が少ない。	● モータの回転数が遅い。	● インバータの回転数を上げる。	12

付 表

1. 主要諸元

品 名	ベールフィーダ(モータ仕様)	
型 式	B F 1 6 0 0 M	
機 体 寸 法	全 長(mm)	1 5 5 0
	全 幅(mm)	2 3 1 0
	全 高(mm)	2 0 4 0
荷台寸法 (mm)		2 1 8 0 × 1 3 4 0 × 9 0 0
質 量 (kg)		6 7 5
適 用 モ ー タ (kW {ps})		2. 2 KW (3 P S)
駆 動 方 法		減速モータ駆動 (インバータ制御)
		3相 (200V)
送 り 機 構		連続送り
最大積載質量 (kg)		1,000
作業ロール幅 (m)		φ1600
装 着 方 法		定 置 式
作 業 能 率 (分/10a)		

※この主要諸元は改良などにより、予告なく変更することがあります。

2. 主な消耗部品

品 名	部 品 コ ー ド	備 考